

令和 3 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人津別町社会福祉協議会

令和3年度 事業報告

I 事業報告の概要

令和3年度津別町社会福祉協議会の活動は、「第2期地域福祉計画・第5期地域福祉実践計画（令和2年度～令和6年度）」の2年次の取り組みをもとに推進してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、活動にも大きな影響を及ぼし、未執行业や縮小した事業がありました。

地域からは、生活が不活発になり、心身機能の低下等がみられたことで、サロン事業の重要性の声が届きました。コロナは、私たちに外出したり人と会ったりする中で自然と体や頭を動かしており、それが心身機能の維持につながっていることを再確認させてくれました。

この状況化でも、感染対策を念頭におきながら、介護予防や健康維持についてどう取り組んでいくのかを今後の課題としたところです。また、福祉教育プログラムについて学校との協議を行うことができ、令和4年度中にプログラムを作成することとなりました。

津別町と共に、平成27年度の「地域相互支援型自治体推進モデル構築事業」から平成30年度に「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を取り組み、身近な福祉相談所「ぽっと」の活動を進化・拡大させつつ、町内での全世代型の包括的支援体制構築に取り組んできた中で、体制整備の手段として、令和3年度から「重層的支援体制整備事業」を取り進めています。

今年度は、相談支援包括化推進員が各相談窓口を繋ぎ、重層的支援会議の開催実績はありませんでしたが、相談員支援会議や同意を得ていない段階での支援会議を実施してきました。寄り添った支援から出口支援となる参加支援や地域づくりに向けた支援へと拡がりつつあります。

また、「豆のわプロジェクト会議」として手をつなぐ育成会等と青大豆の栽培に取り組ましました。地域住民や障がい者がともに活動を通し繋がり合いながら、次年度以降も役割を整理しプロジェクト会議を継続していきます。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

II 重点項目

1 重層的支援体制整備事業実施による包括的相談支援体制の充実

(1) 重層的支援体制整備事業の中心的事業者としての活動

この1年間は、この事業の研修会・説明会に参加しながら、町と社協の役割やお互いの連携と理解が必要であることを再認識してきました。町は庁内連携や職員間の認識の共有化であったり、社協は、包括的な相談体制の中心を担い、地域を取り込んでいく参加支援や地域づくりに向けた支援の創出のため、全国で事業を

実施している社協の取り組みを学ぶことができました。また、居場所や相談を受けているケースから、作業の対価を出せるような事業の必要性や可能性を検討してきました。相談を受け見えてきた課題に、この町に必要なものは何かを模索しながら活動しています。

(2) 相談支援包括化推進の役割と機能

4月より相談支援包括化推進員を配置し、行政の各相談窓口の職員との連携・調整を行いながら、支援困難事例のため多職種連携による支援会議を10事例、30回開催してきました。また、町保健福祉課管理職と係長職、相談支援専門員との相談員支援会議を6月から毎月定例で開始してきています。どのような相談がきていてどう支援につながっているのか、町と社協での情報共有の場としています。

それぞれの相談窓口では、数多くの相談に対応しています。それが、重層的支援体制整備事業の対象となるものかどうかを見極めながら、困りごとの整理も必要であり、相談支援包括化推進員の役割は重要なものとなっています。

また、相談窓口の周知、夜間対応やLINEを活用した相談窓口の開設を検討し、次年度より、周知活動を行っていくこととしました。

(3) 身近な福祉相談所ぽっと

ぽっとは、現在4カ所で開設し、地域の課題把握に努めながら、支援者への見守り等を行っています。今年度は、多くの成果がある反面、活動のマンネリ化や「ぽっと」の役割・機能の薄らぎ、関わる職員の少なさなど課題が浮き彫りになってきました。

11月には、4ぽっと合同の意見交換会を開催し、課題解決に向け取り組んできております。また、それに合わせ、町や社協職員に対しても目的、役割や必要性についての共有化や事業の評価の見える化に向けて協議をしてきました。

(4) ひきこもり者等社会的孤立者への支援

・居場所は、再利用封筒の作成、裏紙や使用済み封筒を利用した伝言メモを作成し、役場や社協内で活用してもらい、居場所の活動の周知を行っています。また、社協に軽作業に通うようになった利用者にサロンで使用する箸袋やコースターなどの作成をお願いしています。現在集まってきている利用者は、経験不足が多いことから、一人ひとりの特性に合わせ寄り添った支援について体験を交えながら検討していくこととしました。

・社協めぐり（農園）では、現在、ひきこもり者等社会的孤立者の方の参加はありませんが、「豆のわプロジェクト会議」事業で障がい者等と地域ボランティアとの共同で青大豆の作付けを行ってきました。まだ、事業化までには至っていませんが、この農園で収穫した大根で切り干し大根の製造やポップコーンづくりなどで商品開発も検討し、少しでも対価として利用者に還元できるようなものをと検討しています。

(5) 権利擁護に関する取り組みの充実

あんしん生活サポートセンターでの相談・申立支援は継続して行っている状況です。審判の通知が届いたときにご本人が亡くなったケースがありました。また、市民後見人が、合葬墓に埋葬するまで支援を行ったケースもありました。いろいろなケースがありますが、市民後見人の力が求められており、今後も市民後見人養成の必要性が求められております。

また、中核機関の設置に向けて、北見地域定住自立圏の市町と連携を取りながら令和5年度に津別町と美幌町との協議を開始することになりました。

2 地域の支え合い活動の推進

(1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み

- ・サロン活動では、コロナ禍でも1地区開所し、現在地区サロン11地区、運動サロン2地区、合計13地区でサロン活動が展開されています。新型コロナウイルス感染症の影響から「サロン交流会」中止しておりますが、新規サロン立ち上げ支援や運動サロンの拡大のために、おためし会を2回開催してきました。
- ・「命のバトン」の取り組みは、4自治会（旭町第3、豊永第4、高台町、幸町）で取り組まれています。活用は自治会中心で行っていますが、名簿の更新が行われていないため、今後は名簿の確認含め状況確認をいかなければいけません。今後も、出前講座や自治会での説明などを通して命のバトンの取り組みを拡大していきます。
- ・各地域での見守り活動では、身近な福祉相談所やサロン活動の他にも、幸町、新町自治会で独居高齢者の見守り活動や防災訓練時の災害時要支援者の把握など、自治会の取り組みが進められています。
- ・福祉委員の見直しについては、今年度も自治会連合会の協議までには至っていませんが、見守り活動としての活動手段として命のバトンや連絡カードの活用などを提案していきます。

(2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

コロナの影響もあり、登録者事前研修会が3月の開催となり、新規登録者は2名増え、年度末登録者は159（男性48名、女性111名）名となりました。

地域の支え活動の推進のため、事前登録研修会やフォローアップ研修会を通じて新たなボランティアの発掘も目指していきます。

令和3年度のポイント交換者は、67人、182,500円（令和2年度70人、179,500円）となりました。今後も、登録者を人口の1割（500人）を目指し取り組みを進めていきます。

3 生活支援サービスの充実

(1) 生活支援サポート事業の推進とコーディネーターの取り組み

- ・生活支援サポーター養成研修やフォローアップ研修を実施し、現在登録者88名

となり実活動者は35名となります。すべての自治会にサポーターはいませんので、利用者のマッチングは難しい面もあり、サポーターの拡大は望まれているところもあります。サポート事業の利用登録者は41名ですが、実利用者は7名であり、利用状況は低いものとなっています。

また、介護予防・日常生活支援総合事業は、住民主体となる通所介護の体制づくりの課題があり、事業所と検討を重ねましたが、事業所では、他事業を取り組むまでには至らない状況でした。

・生活支援コーディネーター業務を町から受託しながら、サロンや自主団体活動への参加やまちづくりセンター運営協議会にも参加し、地域資源の発掘に取り組んでいます。コロナ禍の中、自宅でできる生きがいづくりを発掘するため、社協の窓口を活用した作品展を開催してきました。また、生活支援体制整備協議体の開催や出前講座等を通じて、地域での支え合い活動や健康づくりの話をするなど地域づくりに向けた支援の取り組みを進めてきました。

(2) 認知症の人と家族の支援など認知症地域支援推進員の活動

町受託事業である認知症地域支援推進員としていた職員が、年度途中で退職したことに伴い新たな職員を地域支援推進員としながら活動してきました。

コロナ禍の中での「ちょこっと茶屋」の開催をさんさん館や役場ボランティア室を活用してきました。参加者は少なく、どのようなものが望まれるのか参加できるのか、したいのかを含めさらに協議しながら進めていきます。家族茶話会も2回開催してきました。また、認知症の普及啓発として、認知症クリアファイルの配布やポケットティッシュを金融機関窓口で出前カフェののぼりを立て配布してきました。困ったときの相談窓口の周知を継続していきます。

(3) 福祉有償運送事業（移送サービス）の実施

地域福祉実践計画の課題の一つであった要介護者等への移送サービスは、町の補助事業として福祉有償運送事業を平成29年7月から開始。事業登録者は令和3年度末で284人、実利用者も毎月50人を超える利用となり、定着した在宅福祉サービスになっています。

現在は、車いす利用者が増えてきている中、車いす対応車両（計3台）として現在、フル活動しております。現在、登録車両4台（1台は予備）で登録運転手11人（うち社協職員5人）がいますが、利用者の増から車両・運転手の確保など課題を整理しながら、住民の要望に応じていくこととします。

(4) 既存の福祉サービス事業等の充実

今年度も社協役員、ボランティア、地域住民の皆さんのご協力により、給食サービス、ふれあい郵便の事業を推進することができました。

給食サービスは、配達ボランティアの協力を得て、40名を超える利用者に週2回夕食を届けています。令和3年度は、実利用者76名（内新規27名）延べ737名の利用で5,010食を配達してきました。今後も利用者の増や配達範囲の拡大など

必要に応じての見直しや検討が必要になってきます。

また、高齢者の閉じこもり防止や外出機会を増やし他者との交流を目的とした事業は、コロナ禍の中で中止としてきました。今後に向けて事業の検討をいきます。

4 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

今年度は、研修会等を通じて必要性、対応や課題について学びながら、災害ボランティアセンターマニュアルの整備や災害救援用備品機材の確保など町との協定についてを次年度の課題としました。

「福祉」と「防災」をつなぎ合わせて「福祉防災」として、平時でも災害時でも、あらゆる場面を想定した支援の仕組みについて考えていきます。

5 町内の社会福祉法人や介護・福祉事業所との連携強化

社会福祉法改正による地域における公益的な取り組みについてを他の3つの法人への呼びかけを行いながら協議の場を持つことができていません。

また、町と関係事業所との共同で取り組む介護福祉人材確保セミナーは、コロナ禍のため今年度も行うことはできませんでしたが、協力いただいている学校等への周知活動として「津別の魅力紹介映像」を作成し、YouTube配信を行ってきました。

6 社会福祉協議会事務局活動の充実

(1) 社会福祉協議会財政基盤の確立

法人運営の財政基盤の確立を図ってきておりますが、事業の必要性からホームページの見直し、LINEの活用など新たな展開へと広がってきております。

引き続き事業の見直しを含め、財源の確保に向けアンテナを上げ財政基盤の確立を図っていきます。

(2) 広報活動の充実

社協だよりは、当初計画通り年4回発行を行ってきました。また、社協ホームページの更新のほか、日常の社協活動についてはフェイスブックを活用するなどSNS（ネットワークサービス）の利用も図ってきました。また、認知症推進の取り組みに合わせ、ポケットティッシュを活用した周知活動を行ってきています。

また、相談窓口の周知の課題もあり、新たなホームページの作成により、社協の情報の発信や、LINEの活用の必要性が出てきております。

(3) 事務局体制の整備

令和3年度1名増員体制を取ってきましたが、1名の退職者が出たことで職員数は変わらず大変厳しい状況となりました。一丸となって取り組みながら対応をしてきました。結局は、採用に至りませんでした。次年度の職員採用を目指していきます。

権利擁護の推進やひきこもり者支援など多様な事業展開が必要となっていくこともあり、職員の育成やレベルアップと職員の確保に取り組みながら職員の負担軽減のためにも事務局体制の整備の必要性があります。

社会福祉協議会会議

■正副会長会議

令和3年9月24日（金）山田会長、山内、篠森副会長
令和4年3月4日（金）山田会長、山内副会長

■理事会

第1回 令和3年6月3日（木） 13:30 ～
出席者 理事 11名 監事 1名
第2回 令和3年6月23日（水） 15:30 ～
出席者 理事 12名 監事 2名
第3回 令和3年12月14日（火） 10:00 ～
出席者 理事 12名 監事 2名
第4回 令和4年3月7日（月） 14:00 ～
出席者 理事 10名 監事 2名

■評議員会

第1回 令和3年6月23日（水） 13:30 ～
出席者 評議員 11名、会長、副会長 2名 監事 2名
第2回 令和4年3月25日（木） 14:00 ～
出席者 評議員 11名、会長、副会長 1名 監事 2名

■評議員選任解任委員会

第1回 令和3年6月7日（月） 出席者 委員 4名

■在宅福祉サービス推進委員会・ボランティアセンター運営委員会（合同会議）

第1回 令和3年7月29日（木） 14:00 ～ 出席者 在宅委員 4名
第2回 令和4年2月28日（月） 14:00 ～ 出席者 在宅委員 4名

■歳末支援金配分委員会

第1回 令和3年12月6日（月） 10:00 ～ 出席者 委員 4名

■内部監査

第1回 令和3年5月19日（水） 9:30 ～ 決算監査 監事 2名
第2回 令和3年7月30日（金） 9:30 ～ 第1四半期 監事 2名
第3回 令和3年10月29日（金） 9:30 ～ 第2四半期 監事 2名
第4回 令和4年1月31日（月） 9:30 ～ 第3四半期 監事 1名

研修会・会議・打合せ等

■定例民協（原則毎月第2木曜日） 出席者 小野事務局長

■全道市町村社協会長・事務局長研究協議会（オンライン）

令和3年6月11日（金） 小野事務局長

■地域公共交通活性化協議会

- 第7回 令和3年5月17日(月) 14:30 ~ 16:00 門脇次長
第8回 令和3年8月5日(木) 14:30 ~ 16:00 門脇次長
第9回 令和4年2月16日(水) 書面会議

■全道新任社協会長・事務局長研修会(オンライン)

令和3年7月27日(火) 山田会長、小野事務局長

■つべつ福祉体験セミナー実行委員会

令和3年7月29日(木) 小野事務局長
令和3年9月15日(水) 寺尾主事

■社協事業(令和2年度)実績町長報告

令和3年8月19日(木) 山田会長、小野事務局長、門脇次長

■北海道社協職員連絡協議会・代議員会(オンライン)

令和3年9月7日(火) 門脇次長

■全道市町村社協事務局長連絡会議(オンライン)

令和3年9月29日(水) 小野事務局長

■ボランティア強化セミナー(オンライン)

令和3年9月29日(水) 山口主事

■「ひろがれボランティアの輪」連絡会議・勉強会(オンライン)

令和4年2月2日(水) 山口主事

■市町村ボランティアリーダー学習会(オンライン)

令和4年2月2日(水) 小野事務局長

■オホーツク管内市町村社協会長・事務局長会議(オンライン)

令和4年3月17日(木) 小野事務局長

令和3年度相談支援包括化推進事業実績報告

(1) 支援困難事例や多職種連携による支援会議開催実績

①開催実績 10事例30回

内訳 令和3年 7月 4件

8月 4件

9月 3件

10月 3件

11月 5件

12月 3件

令和4年 1月 5件

2月 3件

10事例30回開催

②支援会議検討事例 精神疾患がある休職中の父子家庭の支援

入院中の母とひきこもり傾向のある子の世帯支援

道外から転入してきた精神障がい者の支援

発達障害のある子の世帯支援

など10事例

③招集メンバー 自立相談支援機関ふくろう、津別消防署、津別交番

美幌警察署、基幹相談支援センター、地域住民、津別中学校

医療機関相談支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業所

津別町保健福祉課 津別町教育委員会、津別町社会福祉協議会

(2) 相談員支援会議開催実績

①参加者 ・役場保健福祉課（健康推進係・福祉係・介護保険係・高齢者相談係）の管理職と係長職、相談支援専門員、重層的支援体制整備事業担当者

・社会福祉協議会の管理職、係長職（相談支援包括化推進員）

②開催実績 10回（令和3年6月開始）

③協議内容 情報共有事例 11事例

情報共有後の経過報告

身近な福祉相談所ぽっとの次年度の動きについて

(3) 情報交換・ケース会議等

①地域ケア会議

「入院中の母とひきこもり傾向のある子の世帯支援（個別事例検討）」

令和3年4月22日 津別町林業研修会館 図書室

立花係長

②個別ケース会議

第1回 令和3年7月1日 津別町役場 中会議室1

第2回 令和3年7月9日 津別町役場 中会議室2

夫からのDV疑いがある母と精神疾患のある息子の世帯支援について

立花係長

③津別町要保護児童対策地域協議会

令和3年11月26日 津別町役場 健診ホール
精神疾患がある休職中の父子家庭の支援について
立花係長

(5) 町、関係機関等との重層的支援体制整備事業に係る打ち合わせ

令和3年6月18日 小野局長・立花係長
令和3年7月9日 小野局長・立花係長
令和3年7月26日 小野局長・立花係長
令和3年8月11日 小野局長・立花係長
令和3年11月1日 小野局長・立花係長

(4) 広報及び啓発

①視察対応等

- ・本別町保健福祉課「重層的支援体制整備事業に係る視察研修」
令和3年9月28日
小野局長、立花係長

②講師対応等

- ・道東社会福祉士の集い
「津別町の重層的支援体制整備事業の取り組みについて」(ZOOM)
令和3年12月4日 立花係長
- ・徳島県社協市町村社会福祉協議会会長・事務局長会議
「地域福祉活動の実践事例に学ぶ 社会福祉協議会の役割と展望」
令和4年2月25日 山田会長
- ・包括的な支援体制構築の手引き作成ワーキンググループ
第1回 令和3年10月6日 小野局長
第2回 令和3年12月21日 小野局長
第3回 令和4年2月14日 小野局長

(5) その他

①職員研修

- ・重層的支援体制構築にむけた説明会 (ZOOM)
令和3年8月27日 小野局長
- ・重層的支援体制構築推進人材養成研修 (ZOOM)
令和3年8月30日 小野局長・立花係長
- ・重層的支援体制整備事業説明会 (ZOOM)
令和3年9月9日 小野局長・立花係長
- ・生きることの包括的支援のための基礎研修 (ZOOM)
令和3年10月14日 小野局長
- ・重層的支援体制構築に向けた市町村間情報共有の場 (ZOOM)
第1回 令和3年11月4日 小野局長・立花係長
第2回 令和3年12月16日 小野局長・立花係長

令和3年度 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業実績報告

- (1) アウトリーチ等を通じた継続的支援プラン作成件数 1件
初回プラン 令和3年7月15日作成
更新プラン 令和3年11月25日作成
令和4年1月20日作成
- (2) 周知活動
社協だより(令和3年10月号)に「どこに相談したらいいかな。」というテーマで相談窓口の周知を行った。
- (3) 相談窓口の強化
令和4年度から、Eメール、LINEでの相談対応ができるよう整備を行った。
またホームページを利用してひきこもり等に相談窓口であることを周知するよう整備した。
- (4) 関係機関等との打ち合わせ
令和3年7月9日 「ひきこもり状態にある者へのアプローチ方法」
大阪市立大学 野村先生
北海道総合調査研究会 切通調査部長
津別町保健福祉課 開沼係長 高齢者相談係 佐々木主任
小野局長・立花係長
- (5) 職員研修
令和3年12月7日 重層的支援体制整備事業に関する人材養成研修
アウトリーチ等継続支援事業者向け研修会(ZOOM)
小野局長・立花係長

令和3年度 多機関協働事業実績報告

- (1) 重層的支援会議の開催
なし
※本人の同意が得られなかったため、支援会議で対応した。
※令和2年度「多機関の協働による包括的支援体制構築に伴うネットワーク会議」で検討していた事例は、支援会議にて対応した。
- (2) 事業の打ち合わせ
令和3年11月1日 支援会議、重層的支援会議について
大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授 野村 恭代氏
一般社団法人 北海道総合研究調査会 調査部長 切通 堅太郎氏
- (3) 職員研修
令和4年1月14日 重層的支援体制整備事業多機関協働研修
小野局長・立花係長

令和3年度 地域づくり支援（共助の基盤づくり）事業実績

（1）身近な福祉相談所ぽっと開催実績

現在、町内4か所で開催。

地域住民で構成させている担い手と、役場保健福祉課（健康推進係、福祉係、介護保険係、高齢者相談係）と社協職員、相談支援包括化推進員（立花）で構成

① 旭町第3ぽっと（小野局長）

開催日 毎月第3水曜日 10:00～

構成メンバー 12名 内訳：担い手 7名（男性1名・女性6名）

職員 5名（役場4名・社協1名）

開催回数 8回（緊急事態宣言・まん延防止重点措置のため開催中止あり）

② 活汲中央ぽっと（門脇次長）

開催日 毎月第2火曜日 10:00～

構成メンバー 11名 内訳：担い手 6名（男性6名・女性2名）

職員 5名（役場4名・社協1名）

開催回数 9回（緊急事態宣言・まん延防止重点措置のため開催中止あり）

③ 豊永第4ぽっと（寺尾主事）

開催日 毎月第4水曜日 14:00～

構成メンバー 16名 内訳：担い手 11名（男性8名・女性3名）

職員 5名（役場4名・社協1名）

開催回数 8回（緊急事態宣言・まん延防止重点措置・祝日のため開催中止あり。）

④ 緑町第2ぽっと（山口主事）

開催日 毎月第2木曜日・第4木曜日 10:00～

構成メンバー 13名 内訳：担い手 8名（男性5名・女性3名）

職員 5名（役場4名・社協1名）

開催回数 13回（緊急事態宣言・まん延防止重点措置・祝日のため開催中止あり。）

（2）活汲中央ぽっとつながりカードの作成

ぽっとの情報共有時に、いつの情報か不明確なことがあったため、「活汲ぽっとつながりカード」を作成し、日付、名前、内容を記載できるカードを作成し、担い手に使ってもらったこととした。

（3）身近な福祉相談所ぽっと意見交換会

日時 令和3年11月2日 9:30～12:00 津別町 中央公民館

講師 大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授 野村 恭代氏

参加者 担い手20名 町職員6名 社協職員4名

一般社団法人 北海道総合研究調査会 切通堅太郎調査部長

津別町社会福祉協議会 山田会長

合計32名

内容 ①事前に担い手を対象にしたアンケートの報告と、各ぽっとで作成した事前ワークシートを使用し活動報告

②各ぽっとから出てきた共通課題についてグループワークを行う

(4) 身近な福祉相談所ぽっと全体会議

- 第1回 令和3年4月7日
小野局長・門脇次長・寺尾主事
- 第2回 令和3年11月1日
小野局長・門脇次長・立花係長・山口主事・寺尾主事
- 第3回 令和3年11月8日
小野局長・門脇次長・立花係長・山口主事・寺尾主事
- 第4回 令和4年3月14日
小野局長・門脇次長・立花係長・山口主事・寺尾主事

(5) 福祉教育

- 令和3年9月21日 福祉教育プログラム説明会 小野局長
- 令和3年11月15日 津別小学校福祉教育打ち合わせ 立花係長
- 令和3年12月3日 津別小学校3年生(32名) 福祉授業
「津別町の福祉について知ろう」
- 令和3年12月9日 津別小学校5年生(35名) 福祉授業
「高齢者疑似体験」
※装具装着のため、社協ボランティアが8名協力
- 令和3年12月22日 津別小学校3年生(32名) 福祉授業
「豊永第4元気サロンとの交流」
- 令和4年1月20日 津別小学校5年生(35名) 福祉授業
「車いす体験」

(6) 災害ボランティアセンター研修

- 日 時 令和4年2月16日 13:30~15:50
- 場 所 津別町役場 大会議室・栄養指導兼調理室
- 内 容 ① 災害時に自分、家族をまもるために日頃からできること
② 災害時の食事の確保 パッククッキングを使って
- ※まん延防止重点措置のため令和4年度に延期

(7) 講師・周知活動など

- 令和3年10月20日 遠軽町民生委員児童委員協議会遠軽支部研修会
津別町中央公民館 講堂
「地域福祉でまちづくり
～住民と専門職の協働による支え合い活動～」
山田会長
- 令和3年10月22日・23日 全国校区・小地域福祉活動サミット
in 北海道イランカラプテからどうでしょう (ZOOM)
山田会長
- 令和3年12月14日 網走・宗谷圏域地域福祉実践者オンライン座談会 (ZOOM)
「地域づくり支援のためにできること」
立花係長

令和4年2月17日 「地域支えあいセミナーinあさか」実践報告（ZOOM）
「身近な福祉相談所における地域住民と専門職の協働」
山田会長

令和4年3月3日 令和3年度地域共生社会推進研究協議会（ZOOM）
「住民とともに進める支え合いの地域づくり
～重層的支援体制整備事業を活用して～」
立花係長

（8）職員研修

令和3年6月16日 災害ボランティアコーディネーター養成資質向上研修（ZOOM）
小野局長

令和3年8月31日 北海道災害ボランティアセンターWEB講座（ZOOM）
小野局長

令和3年9月3日 災害ボランティアセンターWEB講座（ZOOM）
小野局長

令和3年9月29日 網走地区災害ボランティアセンター組織連絡協議会（ZOOM）
門脇次長

令和3年9月30日 地域福祉コーディネーターリーダー研修（ZOOM）
立花係長

令和3年10月22日・23日 全国校区・小地域福祉活動サミット
in 北海道イランカラプテからどうでしょう（ZOOM）
山田会長・小野局長・立花係長・山口主事・寺尾主事

令和3年度 津別町ふれあい・いきいきサロン事業 実績報告書

1、地区サロンの開催状況

サ ロ ン 名	開催回数	参加延人員	備 考
高台町ほのぼのサロン	9回	76名	
柏町いきいきサロン	7回	54名	・福祉バス利用
相生あいあいサロン	9回	83名	
本岐地区いきいきサロン	8回	118名	
豊永第4げんきサロン	7回	207名	
東達美いきいきサロン	8回	105名	・福祉バス利用
東町ふれあいサロン	11回	170名	
旭町第3おさんぽ・ぽっと	6回	88名	
活汲おげんきサロン	8回	105名	
共和にこにこサロン	9回	120名	
豊永第3こいこいサロン	8回	117名	
計 11地区	90回	1,243人	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置適用期間には開催の自粛をお願いした。
解除後の再開や休止については、状況を見て各サロンで判断いただいた。

2、地区サロン立上げ支援の状況

- ・5月10日（月）18：30 豊永寿の家
豊永第3自治会役員会（小野局長・寺尾主事）
・ふれあい・いきいきサロン事業実施に向けた説明

3、運動サロンの開催状況

①共和はつらつ健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
5月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
6月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
7月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
8月	1回	9人	高間運動指導士、スタッフ

9月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	21人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	17人	高間運動指導士、スタッフ
12月	1回	11人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	7人	高間運動指導士、スタッフ
2月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
3月	2回	28人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
計	15回	155人	

②西町さわやか健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
5月	1回	11人	高間運動指導士、スタッフ
6月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
7月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	16人	高間運動指導士、スタッフ
9月	1回	11人	スタッフ
10月	1回	11人	高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	24人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
12月	1回	8人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	6人	高間運動指導士、スタッフ
2月	新型コロナウイルスの感染防止対策として中止		
3月	2回	28人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
計	15回	158人	

③運動サロンおためし会の開催

- ・令和3年7月21日(水) 13:30~15:00
会場:西町寿の家
講師:高間和宏 運動指導士 (Balance up time)
参加:16名
- ・令和3年7月28日(水) 13:30~15:00
会場:共和生きがいセンター

講師：高間和弘 運動指導士 (Balance up time)

参加：19名

4、サロン担当者会議の開催

日時・場所

令和3年4月14日(水) 10時00分から12時00分 津別町中央公民館

- 内容
- ①各サロンの活動状況と課題
 - ②助成金交付申請等について
 - ③事務連絡(講師等派遣、福祉バス使用、レク用品貸し出し、サロン交流会開催について、会食交流について)
 - ④その他

出席者 サロン運営者

高台町1名・柏町2名・本岐2名・相生1名・豊永第4 2名
東達美1名・東町2名・旭町3 1名・活汲2名・共和2 2名
共和1名・西町3名

地域包括支援センター1名・社会福祉協議会2人名 合計23人

5、サロン交流会の開催

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として開催を中止。

例年10月に、町内サロン参加者の交流とサロン内容の充実、拡大を目的にサロン交流会を開催している。音楽を活用した交流や自宅でもできる軽運動などのプログラム、日赤奉仕団の協力を得た会食交流を実施し、近年では140名程が参加する事業となっていることから、ウイルス感染のリスクを考慮し開催中止の判断とした。

6、新型コロナウイルス感染防止対策

- ・感染防止ガイドライン(サロン編、会食編)、注意喚起チラシを用い、感染防止対策の徹底をお願いする。
- ・令和3年5月
緊急事態宣言の発令に伴い、活動自粛をお願いするとともに、介護予防リーフレットをサロン代表者に送付する。

7、視察対応等

- ・令和3年11月12日(金) 13:00~15:00 津別町役場 多目的活動スペース
北見市社会福祉協議会常呂支所(ふれあい・いきいきサロンについて)
小野局長、寺尾主事対応

令和3年度津別町介護予防いきいきポイント事業 事業実績報告書

1. ボランティア登録者の事前研修、並びにフォローアップ研修の開催

登録者事前研修及びフォローアップ研修

日時 令和4年3月1日（火）午前10時～12時

場所 津別町中央公民館 講堂

内容 講演「ボランティア活動で広がる地域の支え合い」

講師 山中 淳史 氏（網走市社会福祉協議会）

ボランティア実践者2名

事業説明（事務局）

参加者 15名（新規登録者2名）

2. 介護予防いきいきポイント登録者の管理

【 令和3年度末登録者数 】

（年齢は登録時 単位：人）

年齢	男	女	計
65歳以上	30	68	98
64歳～40歳	16	40	56
40歳未満	2	3	5
合計	48	111	159

《 参考 令和2年度末登録者数 》

年齢	男	女	計
65歳以上	31	68	99
64歳～40歳	15	41	56
40歳未満	2	4	6
合計	48	113	161

令和3年度は、新規登録者が2人（男1人、女1人）増となった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、登録者事前研修とフォローアップ研修は1回の開催とした。

3. 介護予防いきいきポイント手帳の作成と登録者への送付

登録者事前研修終了後、新規登録者2人（男1人、女1人）の登録を行い、介護予防いきいきポイント手帳を送付した。

4. 指定施設の取りまとめとボランティアの提供支援

(1) 指定施設 (町内8事業所)

- ・社会福祉法人恵和福祉会 特別養護老人ホームいちいの園
- ・社会福祉法人恵和福祉会 津別町デイサービスセンター
- ・社会福祉法人恵和福祉会 津別町居宅介護支援事業所
- ・社会福祉法人津別福祉会 ケアハウスつべつ
- ・グループホームほのぼの
- ・小規模多機能ホーム 夢ふうせんのか
- ・津別町地域包括支援センター
- ・社会福祉法人 津別町社会福祉協議会

5. 登録者のボランティア活動への支援

給食サービス配達ボランティアに令和4年度の活動継続意向と改善点のアンケート調査を実施。ボランティアからの意見を聞くためにも全体ミーティングの希望が多数寄せられ、今後の事業展開に活かしていく。

6. 評価ポイントの管理と換券手続き支援

(1) 令和3年度換券者数と換券金額

(単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	28	76,000	38	101,500	66	177,500
社協財源	1	5,000	—	—	1	5,000
合計		81,000		101,500	67	182,500

※社協財源該当者は、40歳未満登録者の活動分

《 参考 令和2年度換券者数と換券金額 》

(単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	28	74,500	41	100,000	69	174,500
社協財源	1	5,000	—	—	1	5,000
合計	29	79,500	41	100,000	70	179,500

(2) 令和3年度換券者の活動内容

活 動 内 容	人 数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	35	535	29.3
給食サービス	22	611	33.5
社協事業 (集い他)	32	595	32.6
サークルぴゅあ	2	12	0.7
絵手紙	3	70	3.8
託児	0	0	0
特養いちいの園	2	2	0.1
デイサービスセンター	0	0	0
グループホーム	0	0	0
ケアハウス	0	0	0
小規模多機能ホーム	0	0	0
介護予防教室	0	0	0
合 計	96	1,825	100.0

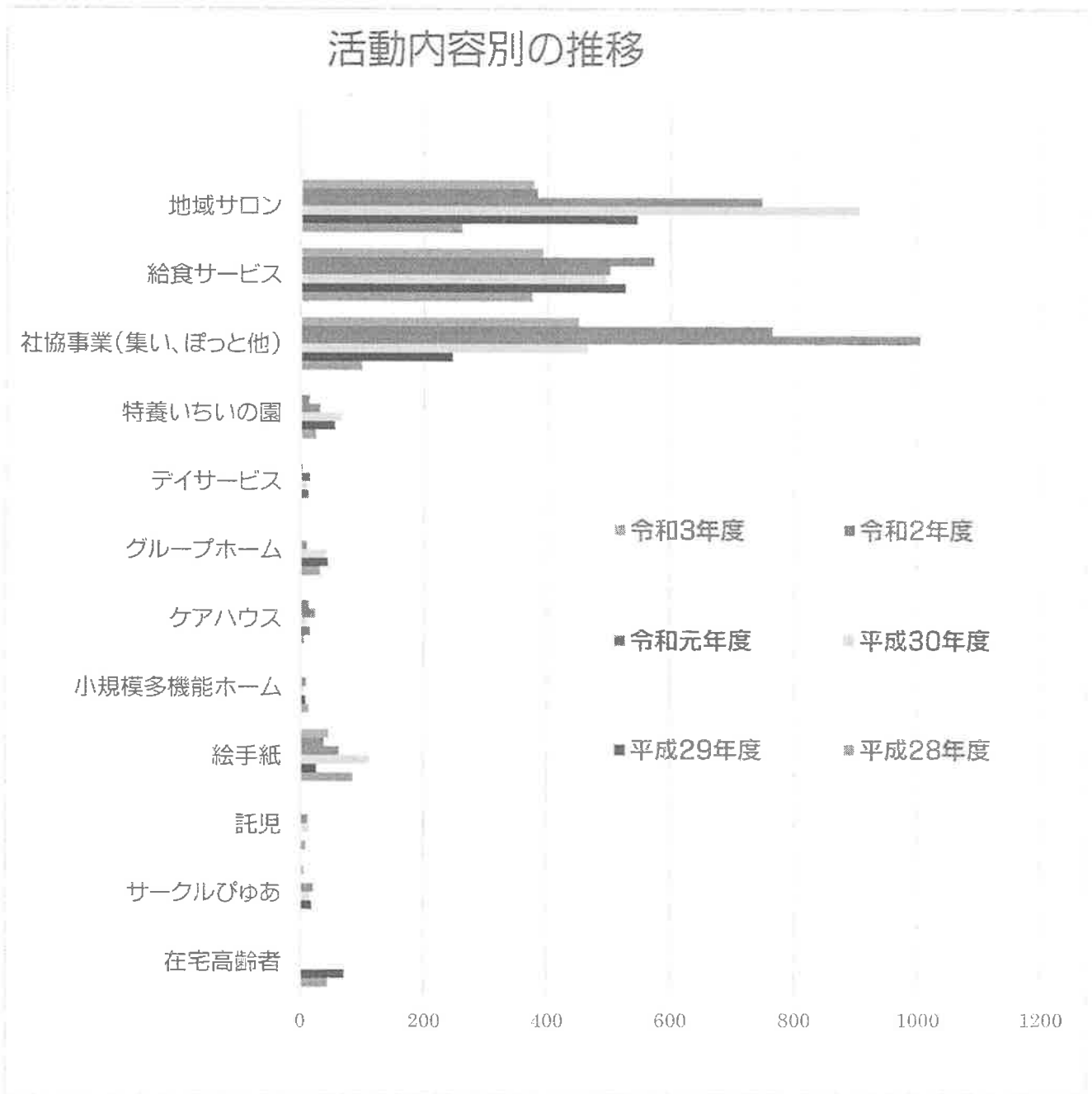
《 参考 令和2年度換券者の活動内容 》

活 動 内 容	人 数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	30	384	21.4
給食サービス	23	573	31.9
社協事業 (集い他)	55	765	42.6
サークルぴゅあ	1	1	0.1
絵手紙	3	38	2.1
託児	1	2	0.1
特養いちいの園	5	14	0.8
デイサービスセンター	2	3	0.2
グループホーム	1	1	0.1
ケアハウス	4	14	0.8
小規模多機能ホーム	0	0	0
介護予防教室	0	0	0
合 計	125	1,765	100.0

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため社協事業や地域サロンの自粛、施設の面会制限など様々なボランティア活動に制限があり、換券人数、換券ポイントが減少傾向にある。

今後は新型コロナウイルスの感染拡大防止をしながら、ボランティアの発掘も含めて活動を続けていきたい。

活動内容で前年度と比較したのが次のグラフである。



令和3年度 津別町あんしん生活サポートセンター事業実績報告

(1) 成年後見制度等に関する相談及び利用支援

1) 相談内容（実人数の件数）

相談内容	件数
成年後見（申立て含む）	2
福祉資金貸付	14
金銭管理	4
虐待事案	1
生活困窮	0
ひきこもり支援	0
生活不安	1
その他	2
合計	24

2) 成年後見等受任状況

①個人受任

受任月	被後見人等	後見類型	市民後見人	生活状況
平成25年5月	78歳女性	後見	中川孝敏・山内浩子	在宅
平成28年8月	78歳男性	保佐	大場建男・貝沼由利	施設⇒死去
平成30年2月	91歳男性	保佐	山本靖博・井村ゆかり	施設
令和元年5月	82歳男性	保佐	相馬由紀子 (津別社協との複数後見)	在宅
令和2年10月	75歳男性	保佐	中田千津子 (津別社協との複数後見)	在宅
令和4年1月	81歳女性	後見	石井満・山田はる江	施設
令和4年1月	90歳女性	後見	福井隆雅 (津別社協との複数後見)	施設

②法人後見受任

受任月	被後見人等	後見類型	後見支援員	生活状況
平成27年5月	96歳女性	後見	鴫田裕子	施設⇒死去
平成28年2月	92歳女性	後見	清水恵	施設
平成29年4月	89歳女性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設
平成29年7月	78歳男性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設
平成30年1月	92歳女性	後見	中山静男	施設⇒死去
平成30年12月	94歳男性	後見	(未委嘱)・弁護士	施設
平成31年1月	89歳男性	後見	土屋昇・土屋けい子	在宅⇒施設
令和2年7月	82歳女性	保佐	(未委嘱)・弁護士	在宅⇒施設
令和3年1月	79歳男性	保佐	(未委嘱)	在宅

3) 申立支援状況

受任月	被後見人等	後見類型	後見人等	生活状況
令和3年7月	96歳女性	後見	審判確定前に本人死去	施設
令和3年12月	81歳女性	後見	市民後見人2名	施設
令和4年1月	90歳男性	後見	津別社協・市民後見人	施設

(2) 成年後見制度等に関する広報及び啓発

① 視察対応等

- ・置戸町成年後見事業に係る視察研修
令和3年5月14日 小野局長・立花係長
- ・清里町社会福祉協議会職員視察
令和3年10月12日 寺尾主事

② 講師対応等

- ・地域における権利擁護システム構築セミナー
令和3年8月2日 寺尾主事
- ・釧路家庭裁判所遠軽出張所 管内成年後見制度利用促進意見交換会
「津別町における権利擁護事業の実践」
令和3年11月12日 山田会長
- ・令和3年度第6期北見市市民後見人養成研修
「権利擁護の理念（意思決定支援）」
令和3年11月29日 立花係長

(3) 市民後見人の養成及び実務等研修の実施

1) 津別町市民後見人フォローアップ研修

① 令和3年度 オホーツク管内市民後見人活動交流会

令和3年11月上旬 ⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 養成研修修了者

- ・令和4年2月3日（木）9:30～12:00 津別町役場 大会議室
⇒まん延防止重点措置のため延期

テーマ 「困った時はみんなで考えよう！」

～本人を知り、明日からできることを考える～

講師 社会福祉法人あむ 南9条通サポートセンター 大久保 薫氏

- ・令和4年3月9日（水）10:00～15:00 津別町役場 健診ホール

講義 「権利擁護支援研修会（全国権利擁護支援ネットワーク主催）」

講師 全国権利擁護支援ネットワーク副代表・PASネット理事

弁護士 福島 健太氏

全国権利擁護支援ネットワーク事務局長

知多地域成年後見センター理事長 今井 友乃氏

全国権利擁護支援ネットワーク北海道ブロック委員

ジャスミン権利擁護支援センター代表 水戸 由子氏

参加者 市民後見人 14名 介護事業所 2名 町 1名 事務局 4名

(4) 市民後見人候補者の登録、受任調整及び市民後見人への活動支援

1) あんしん生活サポートセンター受任調整会議

第1回 令和3年7月2日(金) 津別町役場 多目的活動室

出席者 委員4人、事務局2人

審査案件 1件 申立の審議

報告案件 1件 前審議案件の報告

第2回 令和3年11月30日(火) 津別町役場 多目的活動室

出席者 委員3人、事務局2人

審査案件 1件 申立の審議

報告案件 1件 前回審議案件の報告

第3回 令和4年1月6日(木) 津別町役場 多目的活動室

出席者 委員4人、事務局3人

審査案件 1件 申立の審議

報告案件 1件 前審議案件の報告

2) 市民後見人の適正な活動のための支援

初回報告の作成の仕方、金融機関の照会の仕方などの支援を行った。

(5) 成年後見制度等に関する関係機関等との連携

1) オホーツク管内権利擁護支援センター情報交換会

・令和3年9月29日(水) オンラインにて

・令和3年11月16日(火) オンラインにて

・令和4年2月9日(水) オンラインにて

小野局長・立花係長・寺尾主事

2) 全国権利擁護支援ネットワーク運営協議会

・令和3年4月24日(土) オンラインにて

・令和3年8月28日(土) オンラインにて

・令和3年11月20日(土) オンラインにて

・令和4年1月15日(土) オンラインにて

寺尾主事(北海道ブロック協力員)

(6) その他センターの運営に関し必要な事項

1) あんしん生活サポートセンター運営協議会

令和3年3月23日(水) ⇒ 中止のため書面決議

協議案件 令和3年度あんしん生活サポートセンター事業報告について

令和4年度あんしん生活サポートセンター事業計画について

中核機関の設置に関する経過報告

2) 日常生活自立支援事業契約状況

契約月	利用者	自立生活専門員	生活支援員
平成30年1月	70歳男性	門脇 隆司	寺尾 玲香

3) 津別町ほっと暮らしサポート事業契約状況

契約月	利用者	支援内容	移行予定の制度
平成29年8月	70歳男性	金銭管理、負債整理	未定
令和元年6月	40歳男性	金銭管理	未定
令和2年2月	60歳男性	金銭管理	未定
令和3年9月	80代女性	金銭管理	成年後見制度へ移行
令和4年1月	80代女性	金銭管理	未定

4) 職員研修

- ①全国権利擁護支援ネットワーク「第9回実践交流会」
令和3年9月19日(日) オンラインにて
寺尾主事
- ②全国権利擁護支援ネットワーク「第13回全国フォーラム」
令和4年2月12日(土)13日(日) オンラインにて
寺尾主事
- ③全国権利擁護支援ネットワーク北海道ブロック意見交換会・交流会
令和3年11月24日(水) オンラインにて
小野局長・寺尾主事
令和3年12月27日(月) オンラインにて
寺尾主事
- ④家裁後見制度利用促進意見交換会
令和3年11月12日(金) 遠軽町
山田会長
- ⑤成年後見制度利用促進体制整備研修 応用研修
令和4年2月17日(木)、18日(金)21日(月) オンラインにて
寺尾主事
- ⑥令和3年度日本司法支援センター釧路地方協議会
令和4年2月22日(火) オンラインにて開催
小野局長・立花係長
- ⑦津別町高齢者虐待防止研修会
令和4年3月2日(水) 津別町役場 大会議室
小野局長・門脇次長・寺尾主事
- ⑧令和3年度津別町高齢者虐待防止ネットワーク会議
令和4年3月24日 津別町役場 健診ホール
小野局長
- ⑨北海道市町村成年後見センター等連絡会議
令和4年3月29日(火) 予定 オンラインにて
寺尾主事

令和3年度津別町認知症地域支援・ケア向上事業 活動実績報告書

1. 認知症地域支援推進員の配置

氏名 及川弘美（4月～7月）
所属 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 総務・在宅福祉係主任
資格 社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員

氏名 門脇隆司（8月～3月）
所属 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 事務局次長
資格 社会福祉士

※及川推進員が年度途中で退職したため推進員を変更する。

2. 活動実績

- (1) 認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるような関係機関との連携を図るための取り組み
- (2) 当該推進員を中心に地域の実情に応じて、地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や相談体制を構築する。

- ① 認知症クリアファイルの作成 300枚（令和3年9月27日完成）
- ② 認知症ケアパスの作成（介護マップと合同）・・・地域包括支援センター担当
- ③ 認知症サポーター養成講座の開催
ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の中で開催
令和3年11月19日（金）9:05～10:35 講師 社協 寺尾主事
場所 活汲地域農業研修センター 参加者17名
- ④ 認知症コーナーの設置や先進事例の普及
認知症コーナーの設置 ～ 令和3年10月1日から10月31日までの1ヶ月間
場所：役場内社会福祉協議会カウンター前
図書館より認知症に関連する本を借りて展示
- ⑤ 出前カフェの開催
北見信金津別支店ロビーと津別郵便局ロビーで開催
開催日 令和3年12月15日（水）9:30～11:30
※年金支給日に合わせて開催
※令和4年2月15日（火）も開催を予定していたが、新型コロナウイルスまん延のため中止する。

(3) その他認知症の人やその家族を支援する取組。

①認知症カフェの開催

令和3年10月19日(火) 10:00 ~ 12:00 さんさん館

令和4年1月25日(火) 10:00 ~ 12:00 役場 ボランティア室

令和4年2月22日(火) 新型コロナウイルスまん延のため中止

令和4年3月22日(火) 新型コロナウイルスまん延のため中止

②家族介護者のための茶話会

令和3年12月21日(火) 10:00 ~ 12:00 役場 ボランティア室

③ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の開催

令和3年11月19日(金) 9:00 ~ 11:40 活汲地域農業研修センター

参加者 18名(内1名途中退席)

スタッフ16名(旭町第3自治会、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター
社会福祉協議会、)

※津別交番も協力していただける予定でしたが、仕事の都合により不参加
内 容 認知症サポーター養成講座「認知症を学び、地域で支えよう」

寸劇「トミおばあちゃんの探し物2021」

メール配信システムの説明

徘徊高齢者への声かけ訓練

④認知症サポーターステップアップ講座

新型コロナウイルスまん延のため予定がたたず未開催。

(4) 厚生労働省が示す認知症地域支援推進員研修会を受講し、資質の向上に努める。

①認知症地域支援推進員研修の受講

新任研修 令和3年10月26日(火) 10:00 ~ 18:00

令和3年10月27日(水) 9:30 ~ 16:00

※オンライン研修のため、多目的活動室で受講

②認知症に人と家族の一体的サポートプログラム認知症関係者対象セミナー

令和4年2月8日(火) 13:00 ~ 15:00

※オンライン研修

③認知症になってからも安心して外歩きを楽しめるまちづくり

全国フォーラム2021

令和4年2月25日(金) 13:00 ~ 16:30

※オンライン研修

認知症の人にやさしいお店登録事業

町の方で実施要綱が整備され、令和元年月より事業開始

登録店は、13店舗（令和3年3月31日時点）

	事業所名	登録月	備考
1	加藤信陽堂薬局	令和元年10月	
2	増田呉服店	令和元年10月	閉店
3	津別郵便局	令和元年10月	
4	さんさん館カフェ	令和元年10月	
5	丸玉木材（株）津別病院	令和元年12月	
6	カフェJIMBA	令和元年12月	研修者不在
7	北見信用金庫津別支店	令和2年1月	
8	本岐郵便局	令和2年3月	
9	JAつべつ	令和2年7月	
10	カフェ&ランチ ちゃのま	令和2年8月	
11	（株）津別総合管理センター	令和2年8月	
12	北見相生郵便局	令和2年10月	
13	道東テレビ	令和2年10月	
14	網走信用金庫津別支店	令和2年10月	
15	オホーツク珈琲舎幾島珈琲研究所	令和3年3月	

令和3年度 津別町生活支援体制整備事業 実績報告書

1、生活支援コーディネーター等に関する業務

(1) 住民主体による通いの場の創出

①令和3年6月

通いの場創出についての意向調査（アンケート）実施
調査対象は推進協議体構成員（13団体、地域住民4名）

②令和3年7月9日（金）11：00～12：00 役場中会議室

通いの場創出、まちなかサロン案、いきいきポイント事業の見直しについて打合せ
（篠原係長、丸尾係長、小野局長、門脇次長、寺尾主事）

(2) 地域資源の発掘、サロン活動等既存の通いの場への活動支援

- ・地域サロン 11か所 ・運動サロン 2か所 ・老人クラブ 12クラブ
- ・サークルぴゅあ例会（年4回）
- ・自主団体（ボランティア等）活動への参加
（おりづる会、絵手紙サークル、日赤奉仕団、フォークダンスの会、音楽活動サークル
旭町縫い物の会、津別護美の会、津別更生保護女性会）

①集いの場開催にあたる感染症予防の対策として、ガイドライン、注意喚起ポスターを作成し、感染予防に努めるようお願いする。

②新規サロン検討会や老人クラブ出前講座にて、町内サロン活動等の取り組み紹介実施。
社協だより等広報誌を活用し、地域の取り組みについて情報発信を行う。

③支え合いの担い手確保のため、ボランティア養成研修、ボランティア募集を行う。

④コロナ禍、自宅でできる生きがいづくりを発掘するため、作品展を開催する。

町民へ作品を募集し、R3.12より展示（令和3年度 6作品展示）

(3) 関係機関との情報共有、会議等への出席

①介護サービス事業所連絡会議（寺尾主事出席）

- ・令和3年4月9日（金）・令和3年10月（月）・令和3年7月9日（金）
- ・令和3年8月～10月 欠席のため事業報告提出
- ・令和3年12月10日（金）・令和4年1月12日（水）

②まちづくりセンター運営協議会（寺尾主事出席）

・第1回

令和3年4月27日（火）18：30 さんさん館 多目的ホール

令和3年度事業計画、収支予算案について

・第2回

令和3年11月19日（金）18：30 さんさん館 多目的ホール

アイスクャンドル点灯まつりの開催について

③アイスクャンドルまつり実行委員会（門脇係長、寺尾主事出席）

・第1回

令和3年12月3日（金）18：30 さんさん館 多目的ホール

・第2回

令和4年1月14日（金）18：30 さんさん館 多目的ホール

・アイスクャンドル点灯当日準備

令和4年2月5日（土）13：00 さんさん館

（4）生活支援サポートセンター事業の実施

生活支援サポートセンター実績報告書へ記載

2、生活支援体制整備協議体に関わる関係者間とのネットワークの構築

（1）津別町生活支援体制整備推進協議体会議の開催

①協議体会議

令和3年11月18日（木）14：00～15：45 構成員14名出席

・報告事項

（通いの場創出について、生活支援サポート事業実績）

・グループワーク

（住民主体の取り組みアイデア応募に向けて）

②協議体構成員

・特別養護老人ホームいちいの園・津別町居宅介護支援事業所

・津別町デイサービスセンター ・津別病院 ・グループホームほのぼの

・ケアハウスつべつ ・夢ふうせんのか・ほんき ・株式会社びーと

・加藤信陽堂 ・土田薬局 ・柳瀬食品店 ・自治会連合会 ・身近な福祉相談所

・市民後見人 ・生活支援サポーター ・津別町地域包括支援センター

・津別町保健福祉課 ・津別町社会福祉協議会

③住民主体の地域共生事業推進方策アイデア応募

応募先：公益財団法人さわやか福祉財団

※協議体会議で検討したアイデアについて、提言として応募する

3、生活支援コーディネーターの配置

主担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 寺尾 玲香（社会福祉士）

副担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 係長 立花 さおり（社会福祉士）

4、生活支援コーディネーター研修等への参加

(1) 研修日程と内容

①令和3年11月26日（金）10：00～16：00 北見市民会館

・生活支援コーディネーター養成研修 応用編 寺尾主事 出席

②令和4年2月15日（火）13：00～17：00 ZOOMによるオンライン研修

・生活支援コーディネーター連絡会議 寺尾主事 出席

5、出前講座、講師対応等

(1) 日程と内容

①令和3年9月1日（水）10：00～11：00 活汲老人クラブ会館

・活汲老人クラブ出前講座（地域での支え合い活動について）

②令和3年11月9日（火）10：00～11：00 共和生きがいセンター

・新栄生きがいクラブ出前講座（地域活動に参加することでの健康づくりについて）

③令和3年11月10日（水）旭川市大雪クリスタルホール

令和3年12月1日（水）釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞

・生活支援コーディネーター養成研修応用編実践発表

令和3年度 津別町生活支援サポートセンター事業 実績報告書

1、生活支援サポーター研修の開催

(1) 生活支援サポーター養成研修

令和3年10月28日(木) 10:00~12:00 1日目 5名

令和3年10月29日(金) 10:00~12:00 2日目 4名 サポーター登録 4名

○研修プログラム

- ・介護予防の推進と生活支援体制整備について
- ・津別町の介護サービス・福祉サービスの現状と課題
- ・生活支援サポーターの役割と求められる支援
- ・当事者理解(高齢者の理解)
- ・当事者理解(認知症の理解)
- ・生活支援サポーターの活動

(2) 生活支援サポーターフォローアップ研修

令和4年3月1日(火) 14:00~16:00 中央公民館 講堂

講義「支え合いの取り組みからあたたかい町づくりへ」

講師 山中 淳氏(網走市社会福祉協議会)

ボランティア実践者2名

参加者 11名

2、生活支援サポーター登録者の管理

(1) 生活支援サポーター 登録者 88名(内7名解除) ※別紙名簿のとおり

実活動者 35名

(2) サポーター登録証、ポイント手帳の配布

養成研修を修了し、登録したサポーター全員に対し登録証と手帳の配布を行っている。

3、サポート事業利用者の管理

(1) 利用登録者数 41名(内15名解除)

令3年度 実事業利用者 7名

(2) 利用実績

	実利用人数	延利用人数	活動時間(分)	延べ活動 サポーター数
4月	2	4	120	2
5月	2	3	90	2
6月	3	4	180	5
7月	4	5	180	5
8月	3	4	120	4
9月	2	3	90	2
10月	2	4	120	2
11月	0	0	0	0
12月	1	2	60	1
1月	1	3	90	1
2月	2	3	90	2
3月	2	3	90	2
計	24	38	1,230	28

(3) 活動内容

- ・お話し相手
- ・ごみ出し
- ・窓ふき

(4) チケット利用実績

- ・41枚(×100円) = 4,100円

4、利用チケットの販売

(1) 生活支援サポートチケット

- ・1セット: 30分100円×5枚つづり(500円)

(2) 販売実績

- ・11セット(×500円) = 5,500円

5、サポーターと利用者のマッチング、活動支援

臨時職員(月10日×4時間)

- ・利用希望者との面談を行い支援内容の確認
- ・利用者からの要望・相談対応
- ・サポーターとの連絡調整
- ・サポーターからの相談対応

6、ポイント管理と換券手続き

- (1) ポイント商品券交換申請者 3名
- (2) 換券額 5,000円

令和3年度 参加支援事業実績報告

(1) 生活困窮者（ひきこもり者等）を対象にした「居場所」の運営

① 開催日時

- ・開催日 定期利用者 2名。
- ・開催時間 午前10時から正午

② スタッフ

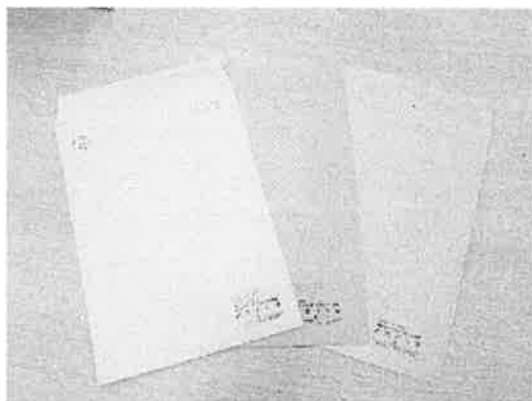
- ・支援員（元町保健師、ヘルパー資格）2名。
- ・社会福祉協議会 相談支援包括化推進員

③ 居場所開所日と参加状況

開所日	当事者	支援員	関係者	計	備考
4月 5日	2人	2人	1人	5人	
4月30日	2人	2人	0人	4人	
7月 1日	2人	2人	1人	5人	
7月31日	2人	2人	1人	5人	
9月 1日	2人	2人	1人	5人	
10月 1日	1人	2人	1人	4人	
11月 1日	2人	2人	1人	5人	
12月 1日	2人	1人	2人	5人	道社協見学
12月27日	2人	1人	1人	5人	
2月 1日	2人	2人	1人	5人	
3月 1日	2人	1人	1人	4人	
計	21人	19人	11人	52人	

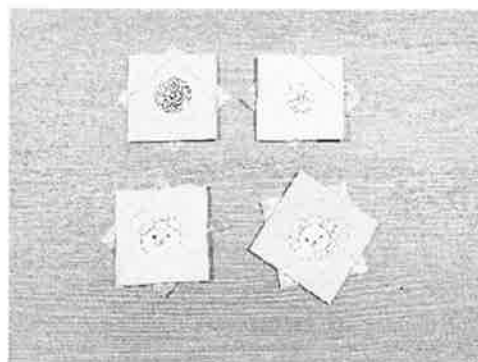
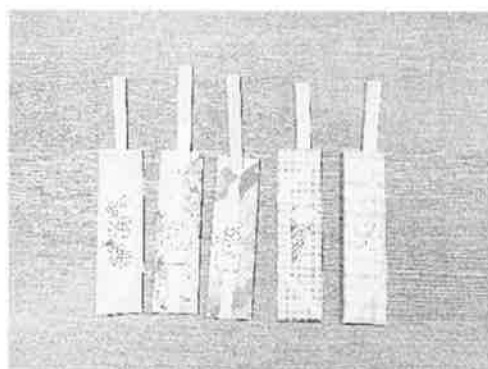
④ 作業内容

- ・役場、社協に届いた封筒を利用し、再利用封筒の作成
- ・裏紙や使用済み封筒を利用して伝言メモを作成



⑤ 就労支援準備事業（北海道社会福祉協議会受託事業）の実施

社協に軽作業に通うようになった利用者1名が令和4年3月利用。
本人の得意なこと、好きなことに合わせ作業内容を検討し、サロンで使用する箸袋やコースターなどを作成。



(2) 中間的就労の場の確保

① 社協あぐりの作業経過

月 日	業 務 内 容	備 考
令和3年 5月20日	肥料まき (社協4人)	
5月26日	社協あぐり畑ロータリーかけ	大野 権氏
6月2日	玉ねぎの苗植え(ボランティア2人、社協2人)	苗は寄付
6月7日	耕運機かけ(ボランティア2人)	
6月8日	青大豆・ポップコーン・黒大豆種まき (育成会13人、ボランティア10人、 びーと1人、社協4人、計28人)	青大豆は育成 会で対応 ポップコーン・ 黒大豆は寄付
6月15日	耕運機かけ(ボランティア1人)	青大豆追加分
6月16日	追加分青大豆種うえ (ボランティア3人、社協3人)	
6月28日	草取り作業(ボランティア2名)	
6月29日	草取り作業 (育成会6人、ボランティア2人、社協3人)	
7月 1日	草取り作業・ポップコーン移植 (育成会4人、ボランティア11人、びーと1 人、社協3人、計19人)	
7月9日	草取り作業 (育成会7人、びーと1人、ボランティア12 人、社協2人、計22人)	
7月6日	草取り作業(育成会) ポップコーン移植・肥料まき (ボランティア1人)	

7月7日	肥料まき (ボランティア1人)	
7月16日	草取り作業 (育成会8人、ボランティア8人、社協3人、計19人)	
7月20日	草取り作業 (ボランティア8人、社協2人、計10人) 農薬散布 (ボランティア2人、社協2人、計4人)	
8月3日	草取り作業 大根植え予定地の耕運機かけ (ボランティア12人、社協3人、計15人)	
8月4日	防虫作業 (ボランティア2人、社協1人、計3人)	
8月16日	大根種まき、草取り (ボランティア5人、社協2人、計7人)	種購入
8月22日	防虫作業 (ボランティア2名)	
9月7日	草取り作業、玉ねぎ収穫、ポップコーンネットかけ (育成会2人、ボランティア10人、社協2人、計14人)	
9月29日	草取り (大根) 作業 (ボランティア5人、社協3人、合計8人)	
10月16日	社協あぐりの大根の収穫祭 (北見信金ボランティア5名、畑ボランティア12人、カレーづくりボランティア4人、社協5人、計26人)	
10月24日	青大豆刈り (ボランティア12人、 北辰土建 一般国道240号津別町相生改良工事・道路工業 一般国道240号津別相生補装工事8人 びーと1人、社協3人、計25人)	
11月13日	青大豆脱穀作業 (ボランティア3人、社協1人)	
12月9日	社協あぐり 切干大根用大根あらい (ボランティア1人、社協1人) 豆のわプロジェクト会議 (育成会1人、びーと1人、関係者2人、社協3人、計7人)	
12月10日	社協あぐり切干大根試作 (社協5人)	
12月28日	社協あぐり切干大根試作 (社協5人)	

令和4年 1月7日	社協あぐり切干大根試作調理 (社協5人)	
3月24日	豆のわプロジェクト会議 (育成会3人、関係者2人、社協3人 計8人)	

② ボランティア実人数 15名 (延べ人数 126名)

③ 社協あぐりの作業



④ 社協あぐりの大根の収穫祭

令和3年10月16日開催 参集人数 70名 大根販売 250本

今年度、収穫した大根の販売と合わせて、あぐりで収穫した玉ねぎなどを使ったカレーライスを町民に無料配布をした。

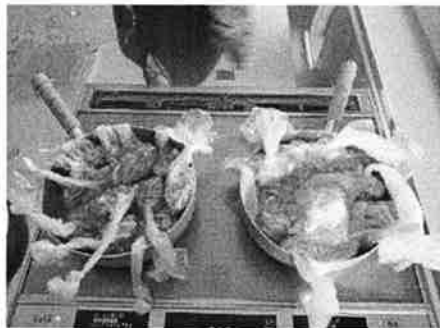




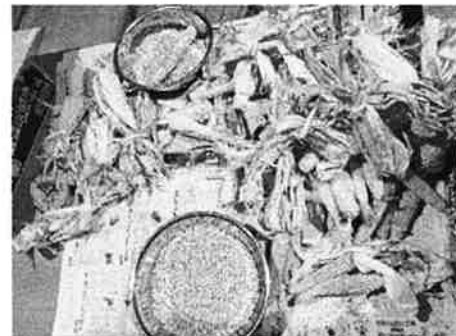
⑤ 収穫した野菜を使っでの商品化の試作

あぐりで収穫した大根、ポップコーンの商品化に向けて試作を行った。

・切干大根試作



・ポップコーン試作



(3) ひきこもり者など支援についての学びと普及啓発
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 関係機関等との打ち合わせ

令和3年11月8日 「就労支援準備事業の活用について」
北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課
北海道社会福祉協議会 釧路地区事務所
小野局長・立花係長

(5) 見学・視察対応

令和3年12月1日 「居場所について」(見学)
北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課
北海道社会福祉協議会 釧路地区事務所
北海道社会福祉協議会 網走地区事務所
立花係長

令和3年12月8日 「ひきこもり支援について」(視察)
紋別市社会福祉協議会
小野局長・立花係長

(6) 職員研修・視察研修

令和3年12月15日 重層的支援体制整備事業に関する人材育成事業(ZOOM)
参加支援事業者向け研修
小野局長・立花係長

令和4年2月18日 続・後方支援プロジェクト 最終報告シンポジウム(ZOOM)
生活困窮者支援の現場に必要な支援者支援とは
～北海道における後方支援を考える～
立花係長

令和4年3月30日 小清水町社会福祉協議会(視察)
「生活困窮者就労訓練事業」について
小野局長・立花係長

生活福祉資金貸付事業

北海道社会福祉協議会による貸付（窓口業務は市町村社協）

■「緊急小口資金」特例貸付（コロナ貸付）

NO	氏名	住所	申請日	金額	備考
1	N 氏	大通	令和2年3月26日	200,000	
2	N 氏	新町	令和2年4月20日	200,000	
3	N 氏	共和	令和2年4月22日	200,000	
4	S 氏	東町	令和2年5月14日	200,000	
5	S 氏	共和	令和2年5月20日	100,000	
6	A 氏	高台	令和2年7月31日	200,000	
7	S 氏	豊永	令和2年12月15日	200,000	
8	F 氏	本町	令和3年3月2日	200,000	
9	A 氏	共和	令和3年3月18日	200,000	
10	K 氏	相生	令和3年4月6日	200,000	
11	S 氏	相生	令和3年9月7日	100,000	
				2,000,000	

■「総合支援資金」特例貸付（コロナ貸付）

NO	氏名	住所	申請日	金額	備考
1	N 氏	新町	令和2年5月7日	600,000	
2			令和3年3月5日	600,000	
3	S 氏	共和	令和2年6月11日	360,000	
4			令和3年2月22日	360,000	
5			令和3年7月30日	360,000	
6	S 氏	豊永	令和3年1月12日	597,000	
7	F 氏	本町	令和3年3月31日	600,000	
8			令和3年6月3日	600,000	
9			令和3年9月3日	600,000	
10	A 氏	共和	令和3年3月31日	600,000	
11	N 氏	共和	令和3年4月21日	450,000	
12			令和3年6月14日	450,000	
13	A 氏	高台	令和3年4月23日	600,000	
14	S 氏	相生	令和3年9月16日	450,000	
15			令和3年11月9日	450,000	
				7,677,000	

福祉資金貸付事業

津別町社会福祉協議会独自の貸付

■新規貸付

- ・ 11名（内5名が2回、1名が4回）19件 貸付金合計額 497,500円
- ・ 令和3年度返済額合計 246,457円
- ・ 令和3年3月31日現在の貸付件数 7件 貸付残高 560,000円

福祉有償運送事業

■福祉有償運送事業

- ・自家用有償旅客運送者登録関係（福祉有償運送）
 - 登録番号 北北福第 30 号
 - 登録年月日 平成 29 年 6 月 21 日（北運企第 129 号）
 - 登録の有効期間 2022 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

- ・車両台数 4 台（内車イス対応車 3 台）
 - 共同募金寄贈車
 - 工藤工務店寄贈車（車イス対応車）
 - 津別町無償貸与車（車イス対応車）
 - 24 時間テレビ寄贈車（車イス対応車）
 - 社協活動車（予備車）

- ・運転手 11 名（内事務局 5 名）
 - 今年度新たに 3 名（内事務局 2 名）講習を受け登録した。

・登録者数 321 名（令和 4 年 3 月末）

・利用実績（令和 3 年度）

4 月	実利用人数	64 名	延利用回数	318 回	利用金額	366,120 円
5 月	実利用人数	77 名	延利用回数	294 回	利用金額	314,760 円
6 月	実利用人数	67 名	延利用回数	334 回	利用金額	281,000 円
7 月	実利用人数	56 名	延利用回数	247 回	利用金額	250,260 円
8 月	実利用人数	64 名	延利用回数	297 回	利用金額	316,020 円
9 月	実利用人数	60 名	延利用回数	240 回	利用金額	261,840 円
10 月	実利用人数	62 名	延利用回数	258 回	利用金額	299,600 円
11 月	実利用人数	59 名	延利用回数	266 回	利用金額	286,000 円
12 月	実利用人数	56 名	延利用回数	265 回	利用金額	303,860 円
1 月	実利用人数	54 名	延利用回数	235 回	利用金額	264,620 円
2 月	実利用人数	56 名	延利用回数	265 回	利用金額	275,540 円
3 月	実利用人数	56 名	延利用回数	272 回	利用金額	328,720 円
		※ N 氏	死去につき徴収不能			△56,800 円
合計	月平均	60 名	延利用回数	3,291 回	利用金額	3,491,540 円

- ・行き先別延回数
 - 津別町内 2,167 回 美幌町 855 回 北見市 235 回 網走市 32 回
 - 大空町 2 回

地域老人懇談会助成事業

地域福祉活動を推進するため、自治会単位で高齢者の交流、福祉・健康教室、地域防犯教室等に関する研修事業を開催するときに助成をする。

- ・対象者は70歳以上の方
- ・20名までは1名1,000円、21名から1名500円

自治会名	実施年月日	参加人数	助成金額
1. 活汲中央自治会	9月1日	29名	24,500円
2. 達美町自治会	9月29日	26名	23,000円
3. 豊永第3自治会	10月9日	34名	27,000円
4. 東達美自治会	12月6日	13名	13,000円
合計金額			87,500円

あんしん電話（緊急通報装置）の推進

・独居高齢者などの不安解消と急病などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るため、ボタンを押すと近隣の協力者に通報がいく装置の設置を推進する。

1、令和3年度の設置者

4名（1名解約）
※新規申込みなし

2、装置使用料金の助成

- ・月額使用料 380円
- ・助成金額 1ヶ月180円
- ・10月期（4月～9月）、4月期（10月～3月）の2回助成を行う

3、斡旋機種

シルバーフォンあんしんS
【取り扱い業者】
NTT東日本 北海道 北見支店

給食サービス事業

週2回（火・金）ひとり暮らしの在宅者等に対して食事を提供することにより、安否の確認、孤独感の解消、食生活の改善等を図る。

（実績と評価）

- 【 年間の利用者数 】 実人数 76 人 延べ人数 737 人 月平均 61 人
- 【 年間の食数 】 弁 当 4,958 食（おせちを含めると 5,010 食）
月平均 413 食
- 【 年間のボランティア数 】 実人数 20 人 延べ人数 612 人

月	回数	利用者 実人数	食 数		ボランティア数	
			お弁当	みそ汁	実人数	延べ人 数
4月	9	55	414	113	20	54
5月	8	57	351	94	20	48
6月	9	61	418	111	20	54
7月	9	57	413	102	20	54
8月	9	57	410	102	20	54
9月	8	63	402	89	20	48
10月	9	62	480	112	20	54
11月	9	65	465	89	20	54
12月	10	67	471	67	20	48
1月	7	67	350	52	19	42
2月	8	63	393	75	19	48
3月	9	63	443	67	19	54
計	104	平均 61.4	5,010	1,073	平均 19	612

※年末のおせち 52 食

- ・利用者数が増えてきている。1人が月に3～4回活動している状況である。ボランティアの負担を軽減のため新たな担い手を探す必要がある。
- ・給食サービス利用者・ボランティア交流会
新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止

ふれあい郵便事業

町内在住の80歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが作成した絵手紙を月1回自治会協力者、郵便配達員が手渡しで配布し、安否の確認と不安の解消を図るため実施。

1、配布状況

月	自治会配布枚数	郵便局他配布枚数	合計
4月	74	108	182
5月	76	113	189
6月	75	113	188
7月	65	123	188
8月	65	123	188
9月	68	120	188
10月	68	121	189
11月	68	127	195
12月	66	126	192
1月	61	127	188
2月	61	124	185
3月	62	120	182
計	809	1,445	2,254

2、配布協力自治会（10自治会）

自治会名	枚数	自治会名	枚数
新町	31	緑町第1	55
旭町第1	29	緑町第3	23
旭町第2	193	共和第3	27
旭町第3	107	共和第4	60
柏町	55	豊永第3	185
高台町	44		

・共和第3は4月から6月まで自治会配布を実施。

3、活動日 第3月曜日 13:00～

介護器具の貸出事業

障がい等により介護器具が必要な方に、ベッド・車イス・エアーマットの貸出を行う。

1、利用状況

	介護用ベッド (月 1,000 円)	車イス (月 500 円)	エアーマット (月 500 円)	利用台数
4月	4	4	0	8
5月	4	4	0	8
6月	4	5	0	9
7月	4	5	0	9
8月	4	5	0	9
9月	4	4	0	8
10月	4	4	0	8
11月	4	4	0	8
12月	4	4	0	8
1月	4	4	0	8
2月	4	4	0	8
3月	4	4	0	8
計台数	48台	51台	0	99台

サークルぴゅあ例会

1、例会の開催

- (1) 令和3年8月30日(月) 10:00~12:00 役場健診ホール
参加者4名 ボランティア2名 役場2名 社協2名 計10名
内容: 近況報告、じゃんけんピッチング、室内ペタンク
- (2) 令和3年12月6日(月) 10:00~12:00 役場健診ホール
参加者5名 ボランティア3名 役場1名 社協1名 計10名
内容: 近況報告、ジェンガ、室内ペタンク
- (3) 令和4年3月7日(月) 10:00~12:00 役場健診ホール
参加者5名 ボランティア3名 役場1名 社協1名 計10名
内容: 近況報告、ジェンガ、室内ペタンク

2、サークルぴゅあ通信の発行

(1) 発行日

- ①NO.15 令和3年8月17日
- ②NO.16 令和3年11月24日
- ③NO.17 令和4年2月24日

(2) 発送先

- ①参加対象者 6名
- ②ボランティア 3名
- ③役場担当課 保健福祉課(地域包括支援センター、健康推進係)

介 護 サ ー ビ ス 事 業

- ・訪問介護事業、訪問入浴介護事業及び障害福祉サービス事業を実施し、介護利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、予防給付者の自立支援に向けたサービスの提供に努めた。

1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業

利用者数 延 723 人 回数 5,491 回 時間 5,514 時間

2. 訪問入浴・介護予防訪問入浴

利用者数 延 2 人（実人数 1 名） 回数 3 回

3. 障害福祉サービス事業

利用者数 延 43 人 回数 184 回

- ・町から委託を受けた、安否確認訪問事業、生活援助員派遣事業を実施し、介護保険サービスを受けることができない方に対して、声掛けなどをおこない不安解消に努めた。

1. 安否確認訪問（介護予防把握事業） 86 件（1 件 915 円）

2. 安否確認訪問（認知高齢者見守り事業） 72 件（1 件 915 円）

・ミーティング 毎月 1 回

・内部研修 毎月 1 回

4 月 ゴミ分別法について

5 月 調理支援について

6 月 介護保険サービスの種類、加算について

7 月 訪問時の曖昧ゾーンについて

8 月 ヘルパーができる口腔アセスメントについて

9 月 ICF で考える訪問介護計画

10 月 パーキンソン病における嚥下障害、誤嚥について

11 月 パーキンソン病における嚥下障害、評価・訓練アプローチ

12 月 パーキンソン病におけるリハビリテーション

1 月 ヘルパー調理支援の工夫について

2 月 嫌われる言葉を、好かれる言葉に言い換える

3 月 元気で働ける体でいるには～幸せホルモン等～

■ホームヘルプサービス研究大会（オンデマンド配信）

・令和 3 年 7 月 15 日（木）60 分 溝渕、村松、青山

・令和 3 年 8 月 4 日（水）240 分 溝渕、村松、青山

■スキルアップ研修（オンデマンド配信）

・令和 3 年 10 月 25 日（月） 溝渕、村松、青山

～ 介 護 保 險 事 業 ～

◆訪問介護・介護予防訪問介護・訪問入浴介護実績（人数、回数、時間）

【訪問介護・介護予防訪問介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 対象者	人数	8	7	8	8	6	6	7	6	6	6	6	6	80
	回数	33	24	38	33	26	21	24	25	22	19	21	25	311
	時間	33	24	38	33	26	21	24	25	22	19	21	25	311
要支援 1	人数	7	8	9	10	9	10	9	10	11	11	10	10	114
	回数	37	39	50	63	54	53	46	65	59	54	54	60	634
	時間	37	39	50	63	54	53	46	65	59	54	54	60	634
要支援 2	人数	9	8	9	9	9	12	12	13	13	11	10	12	127
	回数	63	48	50	58	49	61	61	75	73	63	64	74	739
	時間	63	48	50	58	49	61	61	75	73	63	64	74	739
介護1	人数	22	21	21	22	24	26	25	23	22	19	20	20	265
	回数	179	169	163	184	200	203	202	198	166	149	153	186	2152
	時間	198	184.5	177.5	193	208	203.5	208	201	170.5	154.5	151.5	196	2246
介護2	人数	10	10	11	9	10	8	8	7	7	6	6	6	98
	回数	120	142	143	107	128	84	93	88	84	80	67	64	1200
	時間	120.5	129.5	137	107	128	91.5	89	90	77.5	69	62	62	1163
介護3	人数	2	3	3	2	2	3	3	3	3	3	4	4	35
	回数	18	28	18	18	18	44	42	42	42	41	56	60	427
	時間	18.5	31	18.5	18.5	19	42	40	35.5	36.5	35	49	49.5	393
介護4	人数													0
	回数													0
	時間													0
介護5	人数									1	1	1	1	4
	回数									6	9	6	7	28
	時間									6	9	6	7	28
合計	人数	58	57	61	60	60	65	64	62	63	57	57	59	723
	回数	450	450	462	463	475	466	468	493	452	415	421	476	5491
	時間	470	456	471	472.5	484	472	468	491.5	444.5	403.5	407.5	473.5	5514

【訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護2	人数						1	1						2
	回数						1	2						3
	人数													0
	回数													0
合計	人数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	回数	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3

■年度別介護保険事業実績状況

年度	介 護	入 浴	合 計	年度	介 護	入 浴	合 計
H12年	7,639,450	2,157,810	9,797,260	H23年	14,887,000	431,250	15,318,250
H13年	6,410,560	1,911,970	8,322,530	H24年	18,448,662	1,007,728	19,456,390
H14年	8,889,170	1,813,070	10,702,240	H25年	16,272,166	1,468,233	17,740,399
H15年	13,270,840	1,581,310	14,852,150	H26年	15,003,051	1,693,493	16,696,544
H16年	14,252,410	2,902,410	17,154,820	H27年	18,919,450	569,378	19,488,828
H17年	12,279,270	1,991,050	14,270,320	H28年	22,851,805	1,282,300	24,134,105
H18年	11,660,920	1,451,200	13,112,120	H29年	23,469,960	725,890	24,195,850
H19年	11,364,240	1,135,700	12,499,940	H30年	20,065,424	1,101,470	21,166,894
H20年	14,330,830	776,300	15,107,130	R元年	19,941,062	858,330	20,799,392
H21年	12,780,180	345,010	13,125,190	R2年	22,124,360	72,393	22,196,753
H22年	13,789,360	129,380	13,918,740	R3年	22,872,404	44,480	22,916,884